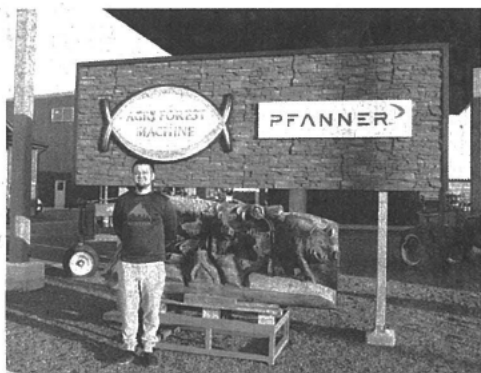




アグリフォレストマシン

本社移転し事業を拡大

木質チップパーの販売が好調

農業機械や林業機械は2022年に北海道の輸入販売を展開する空知郡南幌町に新社屋アグリフォレストマシンを建設、紋別市から本

社を移転し事業を展開しており、主要事業と

り扱いは日本で同社の

なっているMUS-MAAX社製木質チップパーの販売が好調であることを明かした。従来から顧客の多かった北海道・東北地方に加え、ここ2、3年で本州、九州にも引き合いが増えているという。MUS-MAAX社製品の取り扱いは日本で同社の

みとなっている。バイオマス発電施設の増加に伴い、特に需要が高まっているのが、MUS-MAAX社のウッドターミネーターシリーズ。大型のチップ運搬トレーラー（約20t）で20分程度で製造可能だが、業界最高クラスの燃費を持つ。

木質チップの製造販売を行っている事業者は、機械の故障等により業務が停止すると大きな損失に直結するため、バックアップ機として2台目や3台目を導入する事業者も多いという。

また、グループ会社であるファナージャパのヘルメットなどの販売についても好調だ

という。ファナー社製の林業事業者向けヘルメットは、全国森林組合連合会の指定商品にもなっており、本社を移転し、在庫を豊富に確保しておくことが可能になったため、常時千単位で在庫しており、注文後すぐに納品できる体制を整えている。

山田社長は「当社では営業等は行わず、徹底的なアフターサービスやメンテナンスに力を入れている。ユーザーに合ったサポート体制を構築しており、顧客からも高い評価をいただいている。今後も引き続き事業を展開していきたい」と述べている。